

五〇センチ角程の石が露出したので、昭和四八年八月七・八・九の三日間、建設予定地の発掘調査を実施した。調査箇所は、法華堂の北側の勝林院境内との間にある傾斜地の上部で、法華堂北側雨落から二・五メートルをへだてた処にあたる。(第2図) 発掘は、試掘で露出した石を中心に行い、石の東方に近接して、最大径九〇センチ、樹齢二百年余と推定される檜の古い切株を検出、その下方に、この切株にくわえ込まれた状態で東西に走る石垣を検出した。この石垣は、試掘で出土した石の下に連続し、北側を正面として、水平面と約七五度の勾配で立上っている。露出範囲は東西約一・五メートル上下約七五センチ(下部標高二七〇・四四メートル)であるが、ボーリングの所見では、左右と下方に延びていることが察せられる。用石は、見付幅七五・三〇センチ、高さ六五・二〇センチの自然石で、積方は勝林院参道沿いの三千院の石垣と同巧の乱積である(第9図写真)。石垣天端の標高は二七一・三八メートルで法華堂基壇面より二七センチ低い。この石積の状態から見て単なる土留めとは思われない。建造物の基壇の石積と速断は出来ないが、石積西側の延長線は法華堂雨落ちの北西隅近くを通ることになる。

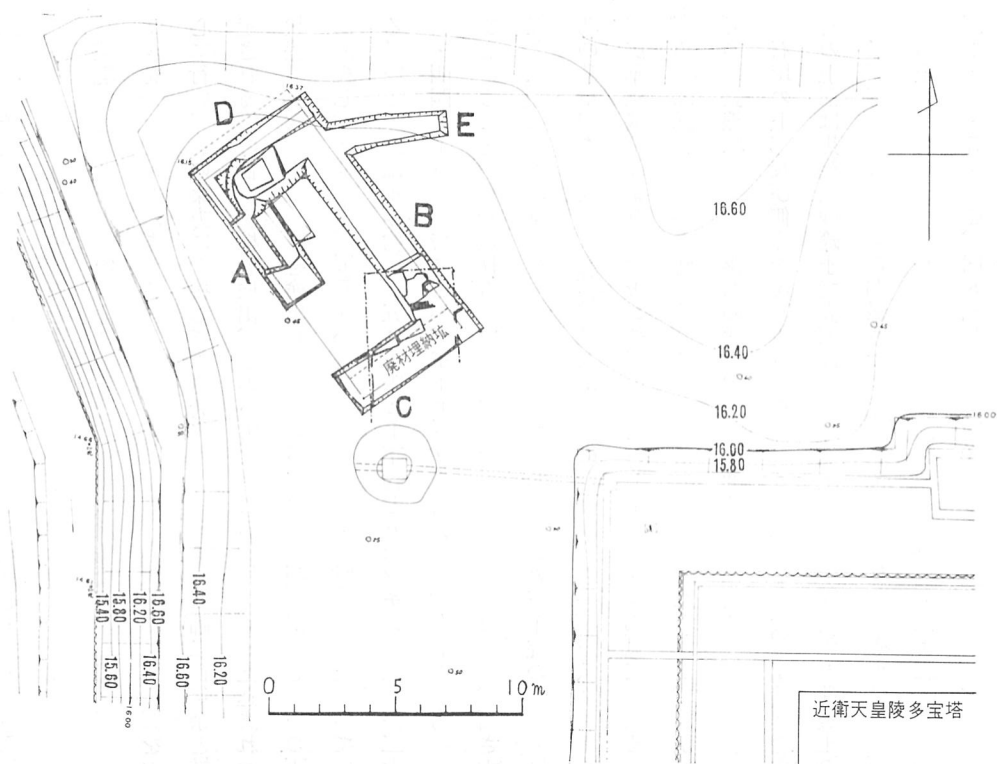
石垣の上部及び側面を覆う土は灰褐色の砂質土で、拳大の角礫を交え、その上部は黒褐色砂礫土で表面は黒色腐植土である。灰褐色の砂質土の中部、石垣際の部分から陶磁器片(第10図写真)、下部石垣際の切株の下から土器片多数が出土した。陶磁器片は林屋氏の御教示によれば、第10図1・3・5宋青磁、同8舶載青磁、同10伊万里亀屋谷窯(十七世紀)、

同4美濃焼天目釉(室町時代)など。土器片は所謂かわらけで、白土器、赤土器である。完形近く接合出来たものを第18図に示した。

(石田茂輔)

四 近衛天皇陵内貯水槽設置予定地の調査

近衛・鳥羽両天皇陵の防災工事施工に当り昭和四八年一〇月二五日から一三日間、近衛天皇陵内の貯水槽設置予定地の発掘調査を行った。当所は、同陵多宝塔の北西約一二メートルの処に位置する同陵樹林地で、東西約五・七メートル、南北一一・七メートルの長方形の地区である。発掘は、第3図のようにこの地区の四辺に沿って約二メートル幅で発掘区を設定、南辺沿をC、北辺をD、CDの中間部東辺をB、西辺をA、の四区に分け、C・B・D・Aの順に発掘した。CB両区では、昭和九年の多宝塔改体修理により生じた旧塔の不燃廃材を埋納した土壌につき当った。この土壌は、東西の幅約三・五メートル。ほぼ多宝塔と平行で南北に走り、C区を斜めに横断し、C区の両端を除いた大部分を占める。土壌の北端はB区南部に露出する。地下約七〇センチ(標高一五・三五メートル附近)を上面とする灰色砂質粘性土層を掘込んで、古瓦・石材・鉄釘・鉄管・銅板などの廃材を納め、一部は盛上がり、その上部は二・三層の盛土になっている。この埋納土部分の掘下げは中止し、貯水槽の設置位置を、ABの北半部及びDとその東側部分に変更し、Dの東側



第3図 近衛天皇陵貯水槽設置調査位置図（縮尺300分の1）

ヘトレンチEを延長した。この附近は地下一・二メートル附近に地下水面があるので、Dの西端中央一メートル四方を排水のため深さ約二・六メートルまで掘さげ、他は深さ一・七〜一・八メートルまで掘下げた。この区域は地下約一・二〜一・二メートル（標高一四・八〇メートル前後）までは盛土で下から黄褐色粘質土・黄褐色壤土・褐色土・黒褐色土・表土の五層になり、瓦片・陶器片・かわらけ（第19図）などを包含する。盛土下は、A及びEの各西端附近を両側とし、そこからBを斜めに縦断して舌状に南に突出する黒灰色のヘドロ堆積の粘質土層があり、木片・木の実、漆器片等を含み、層の厚さはD中央部が厚く、東西両側が薄く、東西の幅約四メートル。もとは溝又は池と考えられ、これを黄褐色粘質土で埋立てたものと考えられる。このヘドロ堆積層の下層は青灰色細砂層、その下には、鉄錆で凝結した赤褐色の薄い砂礫層があり、その下方は砂礫層、礫層と続く、礫層の下は粘性細砂層のようで、ボーリング棒を入れると、激しく砂を吹上げる。礫層には摩滅した須恵器・土師器の破片を含むので、古い河床堆積層と考えられる。

出土物については、整理中で検討していないが、陶器は大略近世の国産品、瓦は布目瓦のうちに、釉薬のかかった灰白色のものが多数ある。

（石田茂輔）

五 景行天皇陵墳丘前方部裾の護岸

昭和四十九年一月から三月の間に、景行天皇陵の前方部の一〇号堀・一



第14図 後白河天皇陵域内遺構出土状況



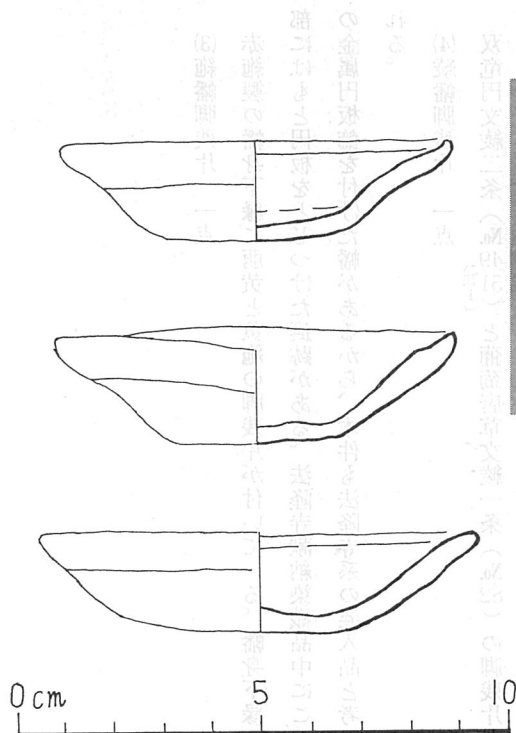
第13図 仁徳天皇陵第1 堤埴輪出土状況



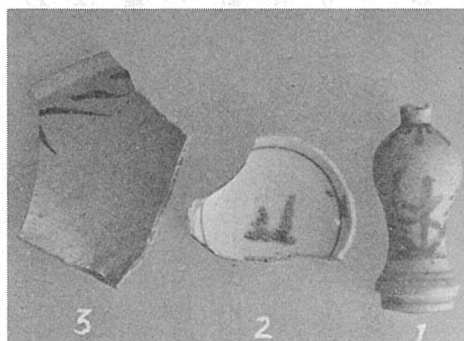
第16図 右高坏銘



第15図 後白河天皇陵域内出土高坏・台座



第18図 大原陵域内出土土器実測図



第17図 後白河天皇陵域内出土陶器



第19図 近衛天皇陵域内出土土器実測図